



**浦安市
国際交流
協会ニュース**

Contents**事業報告**

- 他市の国際交流協会にヒアリングしました
～千葉市と流山市～ P1
- マレーシア高校生のホームステイ受け入れを
実施しました
- 浦安市立小学校で国際授業協力を実施 他 P2
- 第6回歩いて・拾って・街をきれいに SDGs! 他 P3
- 事業予告
10月「韓日創作交流展」で
2つのワークショップを開催
UIFA関係団体が主催するイベントに参加！ P4



事業 報 告

他市の国際交流協会にヒアリングしました ～千葉市と流山市～

足下の環境の変化を踏まえ、未来の浦安市国際交流協会のあるべき姿を模索する UIFA 改革プロジェクト活動の一環として、他の協会を訪問して組織や事業の概要をお聞きしました。

参加者：小西会長、戸田副会長、清水副会長、安岡姉妹都市交流部会長、柴田総務部会長

(1) 千葉市国際交流協会（9月8日訪問）

千葉市は政令指定都市でもあり人口約100万人で外国人も4万人と、浦安市より遙かに大きな都市です。組織も公益財団法人で市からは財政的にも人的にも大きな支援を受けています。

特徴的なことは以下です。

- ・ボランティアは協会には所属せずボランティア活動に専念し、会費もなし。

協会運営は雇用された事務局職員（約20名）が行なっている。この職員の中には外国人の相談や付添い通訳を専門的に行なうスタッフも含まれる。

- ・事業資金は全面的に（ほぼ100%）市が援助している。
- ・重点事業は外国人市民の相談対応と日本語学習支援の2本柱

(2) 流山市国際交流協会（9月22日訪問）

流山市は人口約21万人、外国人は4500人で浦安市とほぼ同等規模の都市です。組織の形態は、我々のような任意団体ではなくNPO団体です。

受託事業：市役所相談窓口、小中学校での外国人生徒への日本語教育、その他

自主事業：1対1の日本語教室（補助金なし）、ボランティアは30～40名

外国語受講生は活動会員と称されボランティア活動をする正会員とは区別されている。正会員は80～90名でイベントスタッフ以外のボランティア活動は少額だが基本的には有償です。

NPO団体であるがボランティアによる運用の負担は我々と変わらず、逆に法に基づく煩雑な報告等の事務処理が必要とのことです。千葉県にはNPO団体の国際交流協会は2つしかなくこの形態による課題もあるが、この組織形態を活かして事業を発展させる方法もあるとのことでした。

2協会それぞれ組織形態、事業運営体制、財源等、我々とは異なりますが、参考になる部分や同じ課題で悩んでおられる部分が多くありました。今後の実効あるUIFA改革プロジェクトを進めるにあたり参考にしたいと思います。（本部）



写真の中央は柿沼事務局長補佐



事業報告

マレーシア高校生のホームステイ受け入れを実施しました

2025年9月14日～15日の2日間、マレーシアからの学生受け入れを行いました。

受け入れ人数は12名、ホストファミリー6組でした。

初めての顔合わせとなる対面式では、各ファミリー自作のウェルカムボードによる歓迎や、代表生徒の素晴らしいスピーチなどが行われ、和やかな雰囲気で受け入れがスタートしました。



郷土資料館でベイゴマ体験



家庭でのたこ焼き作り



翌日に行われた出発式では、別れを惜しみ涙ぐむ子どもたちや、ホストファミリーのお子さんと生徒が手を繋いで集合場所へ向かう様子が見られ、体験の素晴らしさを物語っていました。

今回、マレーシアのサバ州からやってきた高校生たちが、サバ州はオラウータンの保護区など、自然豊かな町だと紹介してくれました。郷土資料館ではベイゴマ体験をしたり、家庭では一緒にたこ焼きを作ったり、1泊2日の滞在でホスト、ゲストそれぞれのかけがえのない時間になったことと思います。

(ホームステイ部会)

浦安市立小学校で国際授業協力を実施

(外国出身者3名による文化の違い紹介)

開催日：7/11（金）午前 開催場所：浦安市立東野小学校

浦安市の小学校では、国際理解教育を推進されています。今回UIFAは、東野小学校において授業の1コマで、5年生全員を対象に浦安在住の外国出身者による「それぞれの国での生活や日本との違いについて」の説明の講座を企画し、協力しました。

今回同校が「浦安市と米国・オーランド市の姉妹都市」の自主学習を進めて来たことから、前段に「姉妹都市の経緯」を分りやすく説明しその流れから今回3名のスピーカーは、米国出身2名、インドネシア出身1名となりました。

今回、同校生徒が主体的に司会やスピーカー紹介を行い、説明の後にスピーカーとの活発な質疑応答もあり、大変有意義な機会となりました。後日3名のスピーカーに、生徒全員からの感謝のレターが届けられました。

(文化交流部会)



東野小学校5年生との集合写真



感謝のレターを受け取った3名のスピーカー

七夕の集い'25（七夕の由来を知る、短冊に願いを込める、皆で盆踊り）を開催

開催日：7/12（土）13:00～ 開催場所：明海大学 学生ホール

主催：UIFA、明海大学 協力：浦安市婦人の会連合会

浦安在住の外国出身者向けに、「七夕の集い」と称し日本文化の理解を深めてもらうイベントを行いました。

参加外国人21名が明海大学のホールに集まり、嬉しそうに浴衣に袖を通してきました。七夕の物語には一心に耳を傾け、その後は短冊に願い事を書いて飾り付けをしました。願い事を書いている間、各テーブルで世代や出身国を超えて楽しく談笑されて交流が進みました。その後の盆踊りは、浦安婦人の会の丁寧かつ分かりやすい指導で、参加者とスタッフが輪になり皆で楽しく踊りました。

今年は、中国・ベトナム・インド・ネパール・ウクライナ・イギリス・ドイツ出身の皆さんでした。明海大学、浦安婦人の会、お手伝い頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

(文化交流部会)



集合写真@明海大学 学生ホール



七夕の由来の説明



七夕飾りの後、皆で盆踊り

事業報告

第6回 歩いて・拾って・街をきれいに SDGs!

(旧名：SDGs プロウォーキング～ウォーキング&ごみ拾い)

10月5日(日) 09:15～11:45 いつもの新浦安駅前バスロータリー入口モニュメント下に集合して、約60名の浦安美化運動の戦士達が、秋空の下でワイワイと楽しく街の一部をきれいにしました。今回は常連さんに加えて、新規の家族連れの方たちの参加があり、改めて、SDGs持続可能な開発目標の大切さに思いを馳せました。90分の活動後は、浦安ラグビーチーム選手たちのサイン会やスターバックス新浦安アトレさんのコーヒーご提供もあり、参加した皆さんに浦安の街のいい思い出ができたならうれしいですね。



SDGsは国連が主導する世界193カ国で2030年に達成する Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）ですが残り5年を切りました。UIFAは、世界の人たちと心を一つにして、身近なところから、歩いて健康、拾ってきてきれいな街づくりを支援します。

(総務部会 SDGs推進チーム)

「やさしい日本語」プロジェクト 第2回・第3回練習会を開催しました

— 実際の記事を使った実践練習 —

「やさしい日本語」プロジェクト（やさにちPJ）では、新しい仲間を迎えるための練習会を全3回で実施しています。

第2回（6月29日・7月2日）、第3回（7月13日・15日）はUIFA事務所にて、平日と日曜日にそれぞれ開催しました。

今回は「うらやす市のお知らせ」に使用された実際の原稿を題材に、やさしい日本語に言い換える実践練習に取り組みました。参加者は事前に文章をやさしい日本語に書き換えて持ち寄り、当日は全員で一つの記事にまとめました。その過程で「文を短くする」「難しい言葉をやさしい言葉に置き換える」といった工夫やルールを確認し合いました。

既存メンバーと一緒に取り組む中で、「同じ原稿でも人によって工夫の仕方が違う」「実際に記事として使われる文章を扱ったので実感が湧いた」といった声が参加者から寄せられました。今回は学生を含む9名の新しい仲間が加わり、活動に多様な視点が加わったことも大きな成果です。

やさしい日本語に「これが正解」という形ではなく、さまざまな工夫を重ねることが力になります。今後も練習会を重ねながら、誰にでも伝わりやすい記事づくりを目指していきます。

補足：「やさしい日本語」とは

日本語に不慣れな人にも伝わりやすいよう、文を短くしたり、やさしい言葉に言い換えたりする表現です。災害時や日常の情報伝達などに役立つ方法として広がっています。（総務部会 やさしい日本語プロジェクト）



外国語グループでは、以下の活動を実施しました。

2025年度後期（10月～2026年3月）外国語講座の受講者募集を下記要領で実施しました。

- ①7月19日（土）に開催した定例会後、引き続き、講座説明会を開催しました。約14名の参加者を迎え、各講座代表よりクラス授業内容のご案内をしました。
- ②8月18日～9月24日の期間には、講座の実地見学会を継続的に開催し、具体的に講座の実感を体得していただきました。
- ③一方、2025年度前期からの継続受講者は、受講優先期間にあたるため、申込手続きを省略し、8月27日～9月8日の期間に、受講料の振込を持って受講受付を同時措置としました。
- ④9月10日～9月24日の期間は、受講枠が埋まるまでを前提に、先着順受付にて、新規受講者募集を実施しました。
- ⑤計、延282名の受講者をお迎えすることができました（継続者260名、内、新規受講者22名（内、UIFA新会員17名））。但し、残念ながら、所定の受講者員数に未達となったT1/イタリア語初級・T2/イタリア語中級では、両者を合体し、T1/イタリア語初中級として一体運用することに、及び、E2/身に付く実用英会話では、ひとまず閉講することになりました。

外国語講座を維持するためには、浦安市地域振興課による「広報うらやす」への募集記事掲載、募集チラシの各公民館等への配布、浦安市後援事業としての認定等々、また、明光企画さんによる「浦安新聞」への募集記事掲載戴く等、皆様からの絶大なるご支援を賜っており、この場を借りましてこの度も厚く御礼申し上げます。（言語学習部会 外国語グループ）

事 業 予 告

お問い合わせ・お申し込みは UIFA 事務局へ

外国语グループでは、以下の活動を予定しています。

- ①外国语グループの定例会を 10月、11月、12月、1月、2月、3月の第3土曜日 13:00～14:30にて予定しています。
- ②10月24日を軸に予定されている「韓日創作交流展」企画には、韓国語講座メンバーを中心にワークショップ等への参画を予定しています。
- ③11月15日は、定例会を時間前倒しにし、その後に、講座代表懇親会を開催する予定です。
- ④外国语グループは、受講者募集活動が終了すると、直にも次の募集活動の開始となります。1月の定例会後半に2026年度前期（10月～翌年3月）に係る講座説明会、その後、2月～3月にかけて、一連の募集活動を実施する予定です。
- ⑤国際センターとの共催にて、「外国语カフェ」相当の企画に参画する予定です。

（言語学習部会 外国語グループ）

10月「韓日創作交流展」で2つのワークショップを開催

第27回「韓日創作交流展」が、10/24（金）～28（火）に新浦安市民プラザ Wave101市民ギャラリーで開催されます。韓日創作交流会主催のイベントで、絵画・書道・写真等の美術作品の展示会です。

UIFAは本交流展会期中に、来日する韓国人作家と浦安市民との交流の場として2つのワークショップを共催します。会場は、市民ギャラリーと同じフロアのサロン6です。

[ワークショップ1：韓国語カフェ]

日時：10月24日（金）15:00～

内容：韓国茶を飲みながら、韓国の人とお話ししてみよう

お問い合わせ
詳細は[こちら](#)



[ワークショップ2：ハングル書道]

日時：10月25日（土）14:00～

内容：ハングルで好きな言葉を書いてみよう



詳細は、右記ポスターを参照下さい。多くの皆様の参加をお待ちしております。

（文化交流部会、言語学習部会 外国語グループ、翻訳・通訳部会）

UIFA関係団体が主催するイベントに参加します！

日頃より支援いただいているUIFA団体会員が主催するイベントに、「国際理解・国際交流」の促進や「多文化共生社会」の実現をめざす、私たちの活動や取り組みを市民の方々に広くPRする絶好の機会と捉え、また、地域とのつながりを深化させるために、専用ブース（パネル展示等）を出展いたします。

(1) 青年会議所創立45周年記念イベント「未来をつなぐ・浦安博覧会」(10月26日)

浦安公園を舞台に賑やかに、こどもからお年寄りまで楽しめ、浦安の未来を共創することを目的としたイベントに浦安市で活動する様々な団体の一つとして参加し、オーランド市との姉妹都市交流等の取り組みを紹介する予定です。

(2) 明海大学主催イベント「だれもがここちよいまちへ」(11月9日)

明海大学が主導する障がいの有無や年齢、国籍、文化的背景にかかわらず、互いに尊重し安心して暮らし、地域の一員として参画できる社会の実現をめざす「うらやすスタンダード・プロジェクト」の一環として開催されるイベントにブース出展し、外国人にフォーカスした活動等を紹介する予定です。

各部会が横断的に連携・協力して「オールUIFA」として取り組みます。

（本部）

発行 浦安市国際交流協会

〒279-0004 浦安市猫実1-12-38 集合事務所3F

TEL: 047-381-5931 FAX: 047-381-8822

10:00～12:00 / 13:00～16:00 (土・日・祝休み)

E-mail: uifa@uifa-urayasu.jp URL: <https://www.uifa-urayasu.jp>



【編集後記】

社会情勢は様々変化していますが、浦安在住の外国人との多文化共生に役立つ交流が活発に行われています。沢山の情報が満載のUIFAホームページとニュースをご活用下さい。広報委員会